

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		810504 埋蔵文化財普及公開事業		担当部課	部課コード	150500	2998-9253	
開始年度		平成 6 年度		終了年度	年度	埋蔵文化財		
事業の概要	事業の種類	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画			文化財保護法 所沢市文化財保護条例			
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	市民文化	基本方針	風土に培われた歴史と文化の伝承と発信	
事業開始の背景	昭和50年代以降発掘調査が急速に進展したが、埋蔵文化財に関する情報が市民に知られておらず理解度も低かったため、センター開館に合わせて本事業を開始した。また、近年は、児童・生徒を対象にした社会科学学習の一環として、子どもたちに身近な遺跡についての学習機会の提供など、学校との連携事業がより一層めめられている。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	出土遺物や遺構写真等を展示し、郷土の歴史や埋蔵文化財保護行政について市民に周知する。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	342,564	人		
	市民			平成 27 年度	343,067	人		
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>小中学校の児童生徒を対象とした来館授業(施設見学)・体験学習の受入(3日間程度)・職員派遣による出張授業等を行う。</p> <p>一般市民を対象とした施設見学を受け付け、解説を行う。</p> <p>小中学校の夏休みに合わせて「ところざわ埋文まつり」を開催し、土器やまが玉作り、昔の衣装(貫頭衣など)での写真撮影、火おこし等の体験を行う。</p> <p>所沢の遺跡について最新発掘情報の周知や展示を行う。</p> <p>外部公共施設において出土品の展示を行う。</p>							
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			2,476	2,527	2,561		
	決算(見込み含む)			2,263	1,941			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.40 人)	(0.07 人)	(0.40 人)	(0.10 人)			
	正規職員人件費	1.18 人		10,291	1.12 人	9,699		
	事業費合計			12,554	11,640			
	財源内訳	一般財源	12,517		11,524	2,561		
国・県支出金								
その他(協賛収入、受講者負担)	37		116					
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	活動実績	学校との連携	来館授業・出張授業・職場体験等の受け入れ児童・生徒数の合計	人	1,523	1,358	1,600	1,800
		普及公開の一般利用者	一般見学者・事業参加者・研修受講者等の人数合計	人	5,161	6,038	6,400	6,500
		貸出資料の利用者数	外部貸出資料(生涯学習推進センター)展示の来場者数の合計	人	480	511	600	700
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	埋蔵文化財に関する市民理解度	授業受講者、事業参加者、展示見学者など文化財公開活用事業への参加者数	目標値	8,600	8,600	8,600	9,000
				実績	7,164	7,907	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	83	92	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析			
	「ところざわ埋文まつり」の体験事業であるミニチュア土器づくりとまが玉作りを有料化し、市の収入が増えた。他部署とのコラボ企画として企画した「狭山茶試飲と販売コーナー」(農業振興課協力)も美味しいと好評で1日中イベントを楽しむ親子連れの熱中症予防にも役立ち、所沢産狭山茶の宣伝効果にもつながった。				埋蔵文化財に関する市民理解度向上のため、様々な活用事業を展開し始めたところである。実績は着実に伸びており、未達成ではあるが目標値に近づいている。			
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	文化財普及公開の市民ニーズは高い。また、埋蔵文化財行政は市民や開発業者等の理解を基盤として進められており、今後も様々な機会を捉えて埋蔵文化財への理解を深めていただく必要がある。		
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化		<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	事業の開催方法・企画・広報等を工夫し、予算は現状を維持しつつ効率よく普及公開活動を実施する。	
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性			
	埋蔵文化財は市の貴重な歴史資料であり、市民共有の財産として将来にわたって保存する意義を理解してもらうためにも、通常の来館者のみならず、出張授業や「埋文まつり」などの事業を通じて、より多くの市民への情報発信を行っている。				今後も引き続き多様な普及公開事業を通じて市民等への情報発信を行い、文化財保護に対する理解を深めてもらうことが必要であると考え。			
評価日	H28.8.10		評価者職氏名	文化財保護担当参事兼文化財保護課長 木村立彦				
環境影響	有益な環境影響	5-4歴史・文化的環境の保全		有害な環境影響を及ぼす原因活動	ポスター・展示説明版等の製作、土器等の運搬		規制を受ける環境法令等	無
							緊急事態	無